

送 辞

柔らかな日差しに、春の訪れが感じられる今日の佳き日に、豊間中学校を卒業される先輩方、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

私たちが先輩方と過ごした二年間は、コロナウイルスの影響を受けた二年間でした。行事も少なくなり、いろいろな制限を受けながらの中学校生活。そんな中でも、笑顔で大らかに学校生活を送る先輩方に、私たちは憧れをいただけていました。

部活動では、初心者だった私たちに対し、先輩方は根気強く丁寧に教えてくださいました。そして、試合での気合が入った勇ましい姿、あきらめずに最後までプレイする姿、また、集中して演奏する姿などから、私たちは多くのことを学びました。

最大の行事であるみよび祭では、先輩方の息の合った演技に全校生が引き込まれ、男女の美しいハーモニーは、この体育館一杯に響きました。そして、豊間中の伝統である「豊中ソーラン」では、切れのある動きと元気なかけ声に、この素晴らしい伝統をしっかりと受け継いでいきたいと決意を新たにしました。

また、昇降口で会うと、明るく挨拶をしてくださる先輩。廊下ですれ違う度に笑顔で声をかけてくださる先輩。わからないことを質問すると、優しく答えてくださる先輩。委員会の仕事などを行っている「やるよ。」と一緒に活動してくださる先輩。そんな、後輩思いでかっこいい先輩方に自分もなりたいたいと思っていました。

でも、二年生になり先輩の立場になったとき、難しくなる勉強への焦りや、後輩のお手本にならなければ、というプレッシャーを感じるようになりました。そして、先輩方が不安な顔を一切見せずに私たちに寄り添ってくださっていたことに気づき、先輩方の偉大さを改めて実感したのです。

4月から頼りにしていた先輩方の姿が見られないと思うと、寂しく心細い気持ちで一杯になります。でも、私たちには先輩方が守ってきた、この豊間中学校の伝統をしっかりと受け継いでいく、という使命があります。少し頼りないかもしれませんが、豊間中学校の伝統を守り、さらに素敵な学校にすることを約束いたします。

明日からは、それぞれが選ばれた、新しい道を進み始める先輩方。時に、つらいことや高い壁が立ちはだかるかもしれません。その時は、この豊間中学校で出会った先生方、そばで支えてくれている家族、そして、三年間、苦楽をともにし、友情を育んだ仲間存在を思い出し、つらいことや高い壁を乗り越えるエネルギーに変え、自分だけの道を切り拓いてください。

今まで、たくさんのお言葉、たくさん笑顔、たくさんの優しさ、そして、たくさんの思い出をありがとうございました。先輩方のますますのご活躍を心からお祈り申し上げます、送辞とさせていただきます。

令和4年3月11日

在校生代表